

会 議 録

会議名		令和 3 年度相模原市米軍基地返還促進等市民協議会実行委員会 (書面会議)		
事務局		基地対策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 0 7 (直通)		
出席者	委員	9 5 人		
	その他			
	事務局	7 人(市長公室長、総合政策部長、基地対策課長他 4 人)		
公開の可否		可	不可	一部不可
		傍聴者数		
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面会議のため		
会議次第		(1) 役員の改選 (2) 令和 2 年度事業報告及び収支決算・会計監査報告 (3) 令和 3 年度事業計画(案)及び収支予算(案) (4) 市内米軍基地の動向等について		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の意見)

(審議を書面で行った理由)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、委員等が一堂に会して会議を開催することが適当でないことから、書面にて委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

委員 95 人のうち、期日までに 68 人から回答があった。未回答の 27 人については、通知に明記したとおり、各議題について承認いただいたものとして取り扱う。

議 題

(1) 役員の改選について

役員について、事務局案を送付し、書面により審議を行った。

審議の結果、承認 95 人、非承認 0 人で承認された。

(2) 令和 2 年度事業報告及び収支決算・会計監査報告

令和 2 年度の事業報告及び収支決算報告について、事務局より説明資料を送付し、書面により審議を行った。

審議の結果、承認 95 人、非承認 0 人で承認された。

主な意見

コロナ禍を理由に催し物等中止されているが、対策を講じつつ、現地(基地)視察や講演等設定すべき。

(3) 令和 3 年度事業計画(案)及び収支予算(案)

令和 3 年度の事業計画案及び収支予算案について、事務局より説明資料を送付し、書面により審議を行った。

審議の結果、承認 95 人、非承認 0 人で承認された。

(4) 市内基地の動向等

市内基地における施設整備の状況等について、事務局より説明資料を送付した。

主な意見

補給廠の視察等も実施できていないが、コロナ対策を講じながらできる手だてを示してほしい。

全てがストップしているようで心許ない。米軍の動きは、感染拡大にあって

も活発であり、情報収集や監視的に活動することなどが追いついていない印象。活動再開を求める。

ゴルフボール飛び出しや米軍ヘリコプターによる騒音問題等被害解消に向け、データを収集する等の努力を重ねられている事に対し、敬意を表します。今後も引き続き問題解決への方策をお願いいたします。

○令和2年11月14日に「相模原スポーツ・レクリエーションパーク」を開園したがもっと市民の皆さんに宣伝をしてほしいと思います。

○キャンプ座間ゴルフ場のゴルフボール飛び出し事故が続く中で、防球ネットの嵩上げ工事が行われましたが、住民の方々はネットが高くなると、2019年台風第15号による千葉県市原市ゴルフ練習場の鉄柱倒壊事故など不安が、また強風時にはネットが揺れ音が鳴り響いて寝れない夜が。

早期にゴルフ場部分を含め早期返還をお願いしたい。

○市・地域住民への情報提供は、引き続きスムーズに行われるよう、お願いしたい。

○返還4事案の推進も引き続きお願いいたします。

○キャンプ座間ゴルフ場ボール飛び出しについては、早期に再発防止の為に具体的な取組を行うよう求める必要があるのではないか。

○相模総合補給廠の機能強化、訓練基地化については、注意深くみていく必要がある。加えて、国会で成立した土地利用規制法案の本市への影響や市民の影響含め法そのものの内容について、市民協としても認識する為の場が必要ではないかと思う。

その他、自由意見等

国から相模原への返還はいつ頃になりますか。

○収支決算書と収支予算案の単位を円単位にそろえた方が分かりやすい。

○資料送付ありがとうございました。基地の動向について、現状の問題点が理解できました。

今回いただいた意見等については、令和3年度相模原市米軍基地返還促進等市民協議会理事会での協議を踏まえ、要請活動等の参考とさせていただく。

以 上

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会役員

事務局案

役職名	団体役職名	氏名
会 長	市 長	本村 賢太郎
副 会 長	市 議 会 議 長	寺 田 弘子
	市 自 治 会 連 合 会 会 長	竹 田 幹夫
	連 合 神 奈 川 相 模 原 地 域 連 合 議 長	川 崎 晴彦
理 事	副 市 長	下 仲 宏卓
	副 市 長	森 多可示
	副 市 長	隠 田 展一
	市 議 会 議 員	仁 科 なつ美
	市 議 会 議 員	松 永 千賀子
	市 議 会 議 員	石 川 達
	市 議 会 議 員	服 部 裕明
	市 議 会 議 員	渡 部 俊明
	市 議 会 議 員	長 谷 川 くみ子
	市 議 会 議 員	後 田 博美
	市 議 会 議 員	小 野 弘
	市 議 会 議 員	金 子 豊貴男
	市 議 会 議 員	大 崎 秀治
	市 教 育 委 員 会 教 育 長 職 務 代 理 者	小 泉 和義
	市 農 業 委 員 会 副 会 長	阿 部 健
	市 P T A 連 絡 協 議 会 副 会 長	篠 田 春美
	小 山 地 区 自 治 会 連 合 会 会 長	安 藤 孝洋
	新 磯 地 区 自 治 会 連 合 会 会 長	穂 苅 健二
	相 武 台 地 区 自 治 会 連 合 会 会 長	瀬 尾 守一
	相 模 原 市 農 業 協 同 組 合 専 務 理 事	落 合 幸男
	相 模 原 商 工 会 議 所 会 頭	杉 岡 芳樹
	市 消 防 団 団 長	原 和彦
	相 模 原 南 交 通 安 全 協 会 会 長	鈴 木 貴市
全 駐 労 さ が み 野 支 部 執 行 委 員 長	山 本 一雄	
小 田 急 多 摩 線 延 伸 促 進 協 議 会 会 長	成 川 猛	
監 事	市 教 育 委 員 会 教 育 長	鈴 木 英之
	麻 溝 地 区 自 治 会 連 合 会 会 長	中 島 勝平

備考：理事会は、監事を除く役員で構成

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会 令和 2 年度 事 業 報 告 書

実 施 日	事 業 名	内 容
令和 2 年 7 月 1 5 日	実行委員会 (書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度事業報告及び収支決算報告・会計監査報告 ・ 令和 2 年度事業計画(案)及び収支予算(案)
8 月 5 日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基地の返還等、米軍基地問題に関する要請について ・ 基地の視察・調査等について
1 1 月 1 9 日	要請	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基地の返還等、米軍基地問題に関する要請 <p style="margin-left: 40px;">【要請先】</p> <p style="margin-left: 80px;">在日米陸軍司令官、防衛大臣、外務大臣、 駐日米国臨時代理大使</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米軍機による騒音の解消に関する要請 <p style="margin-left: 40px;">【要請先】</p> <p style="margin-left: 80px;">米海軍厚木航空施設司令官 第 3 7 4 空輸航空団司令官(書面送付による要請)</p>

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和 3 年 1 月～ 2 月中に実施予定であった市内基地視察及び講演会については、中止

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会
令和 2 年度 収支決算報告書

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	収入済額	差引額	説 明
補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	市からの補助金
繰 越 金	232,000	232,651	651	
雑 入	0	89	89	利子収入 5円 切手代戻入 84円
合 計	1,232,000	1,232,740	740	

2. 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	支出済額	差引額	説 明
事 務 費	70,000	45,645	24,355	通知郵送料 等
会 議 費	40,000	2,600	37,400	理事会賄い代(お茶)
活 動 費	1,050,000	448,376	601,624	印刷費 等
予 備 費	72,000	0	72,000	臨時対応のための支出 等
精 算 額	0	503,379	-503,379	市補助金残額 市へ戻入
合 計	1,232,000	1,000,000	232,000	

収入済額 1,232,740 円

支出済額 1,000,000 円

差引残額 232,740 円 (令和3年度へ繰越)

監 査 報 告 書

令和 2 年度相模原市米軍基地返還促進等市民協議会の収入及び支出について、関係書類を監査した結果、適正に処理されていることを確認したので報告します。

令和 3 年 6 月 29 日

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会

監 事 鈴木 英之

監 事 中島 勝平

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会 令和3年度事業計画(案)

1 事業方針

相模原市には3箇所の広大な米軍基地が所在し、その面積は約429ヘクタールにも及んでいる。

これらの基地は、いずれも人口が密集する市街地に位置しているため、市民の生活に様々な影響を及ぼすとともに、計画的なまちづくりを進める上で大きな障害となっている。

また、厚木基地を離着陸する米軍機や市内基地周辺におけるヘリコプターによる低空・旋回飛行によって、多くの市民が昼夜を分かたず、耐え難い騒音被害に苦しめられている。

こうした中、厚木基地の空母艦載機の岩国基地への移駐が平成30年3月に完了したが、移駐後の厚木基地の運用や航空機の騒音状況について注視する必要がある。

本協議会は、これらの状況を踏まえ、市内基地の全面返還を基本姿勢としながら、引き続き、航空機騒音その他の基地に起因する諸問題の解決に向けて、次のとおり要請活動等を実施する。

- 1 米軍基地の整理・縮小・早期返還の推進
- 2 米軍機による騒音被害の軽減・解消
- 3 基地に起因する諸問題の解決に向けた日米地位協定の見直し、運用改善等の適切な措置の推進
- 4 基地負担に伴う財政支援の拡充

2 事業計画

時 期	事業名	内 容
令和3年 7月 (書面開催)	実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の改選 ・ 令和2年度事業報告及び収支決算報告・会計監査報告 ・ 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)
8月4日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基地の返還等、米軍基地問題に関する要請について ・ 米軍機による騒音の解消に関する要請について ・ 基地の視察及び講演会について
11月頃	要請	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基地の返還等、米軍基地問題に関する要請 <p style="margin-left: 40px;">【要請先】</p> <p style="margin-left: 80px;">在日米陸軍司令官、防衛大臣、外務大臣、 駐日米国大使</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米軍機による騒音の解消に関する要請 <p style="margin-left: 40px;">【要請先】</p> <p style="margin-left: 80px;">米海軍厚木航空施設司令官 第374空輸航空団司令官</p>
令和4年 1月頃	視察・調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内基地視察及び講演会(予定)

備 考：上記の他、重要課題については、状況に応じて要請活動等を適時適切に実施する。

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会
令和3年度収支予算(案)

1. 収入の部

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	差引額	説 明
補 助 金	1,000	1,000	0	市からの補助金
繰 越 金	232	232	0	令和2年度繰越金
合 計	1,232	1,232	0	

2. 支出の部

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	差引額	説 明
事 務 費	70	70	0	通知郵送料 等
会 議 費	40	40	0	会場使用料 等
活 動 費	1,050	1,050	0	要請、視察 等
予 備 費	72	72	0	臨時対応のための支出
合 計	1,232	1,232	0	

収入予算額 1,232 千円

支出予算額 1,232 千円

1 市内基地の動向等について

< キャンプ座間 >

○市道新戸相武台拡幅事業

市道新戸相武台は、幅員が狭く、時間により交通が規制されており、地元からも強い要望があったことから、拡幅整備することとなり、そのために必要な共同使用部分の拡大について、平成18年3月、日米合同委員会において承認された。

本道路は、トンネル区間と掘割区間で構成され、平成23年度からトンネル区間の本体工事に着手し、平成30年度までにトンネル部及び橋りょう2基の架け替え工事を含む約850mの拡幅整備が完了し、令和2年5月末に暫定的な車両通行を開始した。

一方で、基地の外側において一部の道路用地の取得等の合意が得られていない状況であることから、引き続き、地域住民との合意形成を図りながら、将来の整備手法について検討していく。

陸上自衛隊座間駐屯地の改編

平成30年3月に陸上自衛隊の各方面隊を束ねる陸上総隊司令部が朝霞駐屯地に新設されたことに伴い、中央即応集団司令部が廃止され、同時に在日米陸軍等との調整を行う陸上総隊司令部日米共同部が座間駐屯地に新たに配置されるとともに、駒門駐屯地から第4施設群に所属する第364施設中隊が座間駐屯地に移駐した。

この改編により、座間駐屯地の人員は、約590人から約490人となった。

また、本年1月に、オーストラリア陸軍将校1名を連絡将校として日米共同部へ受け入れている。

ゴルフボールの飛び出し

キャンプ座間ゴルフ場は、在日米陸軍基地管理本部の福利厚生部門が管理運営する、18ホールを備えた、広さ約52ヘクタールに及ぶ米軍人、軍属のためのレクリエーション施設で、コース東側沿いの外周道路を挟んで、中学校、公園、ふれあい広場等の施設を及び民家が密集する地域に隣接している。

過去には、飛び出したゴルフボールにより、人身や物損事故も発生したことから、国及び米軍に対し強く要請を行った結果、使用するゴルフクラブの規制、コースレイアウトの変更、防球ネットの増設工事等が行われた。

また、平成23年度から24年度にかけて防球ネットの嵩上げ工事が行われたものの、その後も、ゴルフ場の近隣でボールが見つかる事案が現在までに11件発生している。

米軍ヘリコプターによる騒音問題対策

キャンプ座間の北西部に所在するヘリポート(キャスナー飛行場)には、在日米陸軍第78航空大隊のヘリコプターが配備されているが、これ以外にも厚木基地の米海軍ヘリコプターや横田基地の米空軍ヘリコプターが同ヘリポートを利用した訓練を行い、平成17年度以降、騒音等に対する市民からの苦情が多数寄せられるようになった。

平成18年10月から、ヘリポートに隣接する勝坂コミュニティセンターに騒音計を設置してデータを収集し、キャンプ座間における米軍ヘリコプターの飛行実態や騒音状況を把握している。

また、市民からの苦情の内容等により、騒音被害を発生させている主な原因が米海軍のヘリコプターであることから、厚木基地に対しても、測定結果に基づき、低空・旋回飛行の禁止等の騒音被害の解消・軽減を求めている。

<相模総合補給廠>

第38防空砲兵旅団司令部の駐留

平成30年9月28日、相模総合補給廠に米陸軍第38防空砲兵旅団司令部が駐留することが国から決定事項として通知され、同年10月16日から当該司令部は活動を開始している。

市では、同年10月4日に防衛大臣及び外務大臣に対して、司令部の任務や運用等の詳細を明らかにすること等について文書で要請した。その後も、市米軍基地返還促進等市民協議会とともに国及び米側に対して強く要請を行っている。

令和元年12月19日、南関東防衛局から追加の情報提供があったが、今もなお、当該司令部の任務や運用等の詳細については、明らかになっていない。

【要請内容】

- ・ 司令部の任務や運用等、詳細を明らかにすること。
- ・ 司令部駐留が補給廠の機能強化、恒久化につながるものがないこと。
- ・ 補給廠周辺に騒音等の影響を及ぼすものがないこと。

【これまでに国及び米軍から示された当該司令部の概要】

<平成30年9月に示された内容>

- ・ 要員は115名
- ・ 当該司令部は、防衛レーダー通信所(青森県車力通信所・京都府経ヶ岬通信所)に対する指揮、統制及び調整を行うもの。
- ・ 当該司令部は、補給廠の既存の施設に駐留し、また、新たな装備品の導入を行わないことから、補給廠の機能強化に当たらないものである。
- ・ 補給廠の主要任務が兵站業務であることは、今後も変わらない。

<令和元年12月に示された内容>

- ・ 当該司令部は、車両及び下位の防空部隊との通信のための機器を導入

しているが、通信機器については、米陸軍が使用する標準的な通信機器であり、当該司令部が所在する基地内を含め、周辺地域へ影響を与えるようなものではない。

- ・ 当該司令部の下位の防空部隊について、防衛レーダー通信所及び嘉手納基地に駐留するPAC3を扱う大隊に加え、令和元年10月1日からグアムに駐留するTHAAD部隊が新たに加わった。

倉庫爆発火災

平成27年8月24日に発生した倉庫爆発火災について、平成28年11月1日、防衛省及び外務省から、事故原因等に関する最終の調査結果が報告されるとともに、同日、本市職員が相模総合補給廠に立ち入り、現場において米軍から当該事故を踏まえた米軍の再発防止策について説明を受けた。

また、平成30年6月、米軍から防衛省を通じ、これまで搬入及び保管を停止していた酸素ポンベについて、5月30日から搬入及び保管を再開したとの情報提供があった。あわせて、保管場所や保管状況等について市に現場説明を行いたいとの申出があり、同年6月25日、補給廠において現場確認するとともに、米軍から酸素ポンベの小型化を図り、その保管量を大幅に削減したこと、今後、保管等に大きな変更があった際には、市に情報提供を行うことなどの説明を受けた。

米軍ヘリコプターによる騒音問題対策

相模総合補給廠には、ヘリコプターの常駐はないものの、連絡用のヘリポートがあり、横田基地配備の米空軍ヘリコプターが度々飛来し、近年、騒音等に対する市民からの苦情が多数寄せられるようになった。

このため、飛行実態や騒音状況を把握するため、平成31年2月に騒音計を市営相模原駅自動車駐車場の屋上に設置し、データを収集している。

一部返還地(住宅区域及び野積場の一部(約15ha)と鉄道・道路用地(2ha))

平成26年9月30日、相模総合補給廠の住宅区域及び野積場の一部(約15ha)と鉄道・道路用地(約2ha)の国への返還が実現し、南北道路及び東西道路の暫定整備を行い、現在、返還地を活用したまちづくりに向けた検討を進めている。

返還された約15haのうち、更地部分の約4.7haを国から管理受託し、市民がイベント等に利用できる広場として、平成30年度から一般利用を開始した。

また、外周部分については、平成30年度に国がブロック塀の鉄条網を撤去した。さらに、大阪北部地震によってブロック塀の安全性が問題となったことへの対応として、令和元年度にブロック塀が撤去され、代わりにフェンスが設置された。区域内の樹木については、これまでに国が約500本伐採した。引き続き、区域内の樹木の伐採及び住宅の撤去を国に求めていく。

野積場(約35ha)の共同使用

平成24年6月29日に、日米合同委員会において共同使用について合意された。市、国及び米軍の三者で、共同使用区域の利用や管理の方法、施設整備の内容について、平成22年10月6日に当時の在日米陸軍司令官との間で締結した覚書を基に協議を行ってきた。

その結果、平成27年12月2日に、共同使用区域の利用や管理、スポーツ・レクリエーションゾーン(10ha)の整備等に向けた現地実施協定を市、国及び米軍との間で締結し、同日、南関東防衛局から本市に提供国有財産一時使用許可書が交付され、共同使用を開始するに至った。

現在、スポーツ・レクリエーションゾーンの整備工事を進めており、令和2年11月14日に芝生広場や遊具広場の区域を「相模原スポーツ・レクリエーションパーク」として開園し、さらに、本年4月には人工芝グラウンドの供用を開始した。今後、ボール遊び広場や軟式野球場等、完成した区域から順次供用し、令和6年度には、都市公園として全体を利用できるよう取り組んでいく。

<相模原住宅地区>

施設整備

- ・相模総合補給廠一部返還地にある住宅を移設するため等の新設住宅(218戸)の整備

- 第1期(106戸)の建設工事(平成24年度に完成)

- 第2期(112戸)の建設工事(平成26年度に完成)

- ・その他住宅の建て替え等のための工事

- 106戸の建設工事(平成27年度に完成)

- 住宅の新設、建替えに伴う老朽化した住宅(65戸)の撤去は、平成30年度に完了した。

2 厚木基地の空母艦載機の岩国基地への移駐について

日米両政府により合意されていた岩国基地への空母艦載機固定翼機部隊の移駐については、平成30年3月に完了した。

なお、岩国基地への移駐が完了した現在においても、着陸訓練の際には、厚木基地が予備施設の一つとして位置付けられている。